

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年9月20日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	469720022
法人名	有限会社 南の太陽
事業所名	グループホーム 南の太陽
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町新川西1356番地 (電話) (0994) -45-7373
自己評価作成日	令和1年8月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年9月13日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様が持っている力を最大限に発揮できるように、職員は「待つ」姿勢を大切にし「自分らしい生き方、生活」の実現に向けた支援に努めています。  
・地域との交流の場として、ボランティアの受け入れや慰問などを依頼し交流の場を提供しています。包括支援センター主催の「認知症カフェ」の開催の際に場所を提供し地域との交流や貢献に努めました。  
・イベント行事では、月々のおやつ作りや室内レクリエーション、季節に合わせた行事の計画や南の太陽グループ全体でのそうめん流しや秋祭り、もちつきなど利用者様に喜んで頂けるよう開催実施しています。  
・医療の連携では訪問看護師の訪問により、体調管理の徹底や情報共有を密にしながら利用者様の状態を適宜報告し体調の変化などの早期発見に努め入退院の予防を行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業目的や方針、月次目標や研修計画等、毎年度、丁寧に事業計画書を作成している。また、理念の他に年度毎に職員で意見を出し合いキャッチフレーズを掲げており、今年度は地域との交流の機会を増やしたいという思いから「地域とともに手を取り、ぬくもり、笑顔あふれる安心の空間づくり」を掲げ、日々実践につながられるよう、繰り返し職員間で意見交換している。  
定期的に身体拘束廃止委員会を開き、身体拘束のないケアの方法や施設しない自由な暮らし、言葉による拘束防止についてを繰り返し話し合い確認している。特に言葉による拘束については、何気ない言葉が利用者の行動を止めてしまうことにつながるため、危険だから少し待ってほしいと伝えるなど、言葉を選んで声をかけるようにしている。  
「急変時、緊急時の対応について」「看取りの際の急変時対応について」を入居時に説明し同意を得ると共に、入居後も本人や家族の思いの変化に寄り添えるよう、毎年家族会で確認するようにしている。過去に看取りを行った事例があり、内部研修や外部研修会に参加して知識の向上を図っている。  
施設内ばかりではストレスにつながるため、少なくとも毎月どこかに出かけるよう、年間行事計画を作成している。歩行が難しい利用者でも、車椅子や車椅子対応車で出かけるなど、外気浴を楽しむ機会をつくり出かけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員が目につくようにリビングに掲示してある。毎年1度キャッチフレーズを作成し、職員全員で考えている。	理念を目につくところに掲示し、毎朝唱和している。理念に「地域との結びつき」という文言を組み込んでいるが、地域との交流が少ないと感じ、今年度のキャッチフレーズを地域に焦点を当て掲げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	老人クラブのボランティアや認知症カフェ、保育園児との交流を行っている。また、近隣の知人の方などが面会に訪れてくださるため交流ができています。	日常的に散歩や買い物に出かけた際に、地域の人々と挨拶や会話を交わしており、町民運動会でも交流している。また、保育園児や小学生との交流のほか、高校生のボランティアの受け入れ等、教育機関との関わりもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	包括主催ではあるが、認知症カフェの開催で家族へ認知症の方への理解などを求める機会がある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の出席が少なく、日程調整など試みるも、当日欠席などで参加してもらえないことがほとんどである。現状のままであれば、役員を決め、年度内は出席してもらおうかと検討している	会議には民生委員や行政職員が参加しているが、家族の参加が得られていないため、参加してもらうにはどうしたらよいかを職員間で話し合っている。出席者からは多くの意見をもらっており、職員の言葉遣いへの助言を受けてからは、改善のため毎月確認するようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や介護保険などで報告・連絡・相談をし助言等もらいながら連携を図っている</p>	<p>行政職員とは、介護保険関係の書類提出時や相談助言をもらう際、また運営推進会議や集団指導等でも顔を合わせ意見交換している。また、行政主催の研修会には可能な限り参加するなど、日常的に連携を図るようにしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>3ヶ月に1回の身体拘束委員会を開催し全ての職員が身体拘束についての知識や理解を深めるよう努めている。</p>	<p>事業計画書に身体拘束をしないケアと対策、身体拘束の適正化のための委員会開催を明記し、研修や話し合いを繰り返し行っている。センサーマットを利用する場合は、本人と家族に必要性を十分説明し同意を得た上で利用につなげている。また、言葉遣いや言葉による拘束については、繰り返し確認することで、意識付けを図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について職員会議、研修会を通じて利用者様への言葉遣いや声かけなども検討しながら防止に努めています</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各制度による支援者がいない事もあり勉強会や制度の活用について学ぶ機会はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に説明をし理解を図っている。また、料金の説明などは書面を使い十分に説明できている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様やご家族より意見や要望があればその都度改善しております。職員間で共有し周知しています。</p>	<p>利用者や家族の意見のほか、入居前の病院や施設の職員からの情報も参考にしながら運営に反映させている。また、日頃より家族が面会に訪れた際に意見や要望を尋ねると共に、食事会を兼ねて実施している家族会でも意見を求め、業務の改善や工夫につなげている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議や年2回の人事考課の面談にて意見や提案などを聞き取り必要な場合は役職会議の議題で取り上げています。</p>	<p>申し送り時や職員会議、個別面談の際に意見を求めている。研修会は、なるべく全員が順番で参加できるよう配慮すると共に、資格取得についても、休暇を取りやすくするなど、受験しやすい環境に配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課にて個々の現状と目標管理を行い努力や実績なども評価している。また、他事業所役職にて再評価している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内、法人内、外部研修先への参加受講の機会を設け全職員の知識向上できるように参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協力医や医療機関主催の「認知症研修」を中心に参加している。今後も積極的に参加するように努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込みの際に、現在生活している場所に訪問することや、自分で伝えることが困難な方は、担当ケアマネジャーや家族から情報をもらっています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に家族の思いや要望、経済状況など聞ける範囲にて伺うようにしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時に本人や家族の思いを伺い状況確認をし必要な支援を見極めています。必要に応じて他サービス機関につなげる対応をしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用様が出来そうな軽作業（家事や掃除）など一緒に実施することで毎日の日課、役割になることもあります。高齢者ならではの知恵や昔の習慣も聞きながら共に支えあう関係性を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月発行しているひまわり新聞や、面会時や電話やSNSなどで日々の様子を伝えています。また、年に1度は利用者個人の新聞を作り細かく現状を報告しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の知人の方の面会や外出で町内のドライブなどを実施しています。携帯電話の使用に制限を掛けずいつでも馴染みの方々とつながれるようにしています。	これまでの馴染みの関係をアセスメントシートに落とし込み、電話や手紙の取り次ぎを行うと共に、家族と協力して利用者の望む馴染みの場所に出かけている。また、携帯電話で友人と会話を楽しむ利用者もいるなど、これまでの関係を大切にしながら過ごしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士で、会話が弾まれたり、一人の利用者が洗濯物や台拭きをしていると自然と手伝うと手を差し伸べたりとあります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了していても、偶然お会いした時は職員の事を気に掛けて下さったりとあります。状況に応じて関係機関と連携を図り対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や思いを聞き取り、表情を観察し意向の把握に努めています。聞き取りが困難な場合には、家族や関係者からの情報を伺うようにしている。	本人が思いを伝えられない場合は、家族に尋ねたり、入居前の施設職員から情報を収集すると共に、表情や仕草、指で示してもらするなどして汲み取っている。把握した情報は申し送りノートに記録して職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人・ご家族・関係者からの情報収集をし、これまでの生活歴や生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日課や個々の一日の過ごし方を知ることが出来るよう、毎日の申し送りや職員会議等で情報交換をし周知できるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族を交え、訪問看護師、職員と話し合い本人や家族の思いを反映した計画を作成している。	本人や家族の意向を基に、担当職員が日頃接する中で感じた思いや意見を毎月のカンファレンスで話し合いケアプランに反映させている。また、主治医には文書で意見を求め、担当者会議には看護師の参加も得ながら意見を出し合いケアプランを確認し交付している。状態に変化がみられた場合は、その都度、ケアプランを見直し、再作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の状態の変化や職員の気づきなどを個々の生活日記や申し送りノートに記入しさらに口頭での申し送りも行っています。会議等では利用者様個々の記録担当を振り分けています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者個々のかかりつけ医で継続して往診受診してもらっています。受診の際は施設職員が対応し、入院期間中はご家族や相談員と連絡を密にし早めの隊員が出来るように努めています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期・不定期にボランティアの受け入れ訪問していただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望する医療機関となっていて、往診や受診にて定期的な診察を受けられるよう取り組んでいます。また訪問看護と契約をし定期的な健康管理も行われています。	利用者の多くが入居前のかかりつけ医や協力医療機関の医師による訪問診療を受けているため、本人や家族の安心につながっている。他科受診は職員が支援しており、受診の内容は申し送りノートに記録し、職員間で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪問看護師に健康チェックをしていただいています。また、緊急時や状態変化等連絡報告し早期に対応していただいています。必要時の往診受診の流れも確立できています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院された場合はできるだけ入院に立会い、継続的に面会を行っています。長期入院により認知症の進行予防や身体機能の低下を避ける為、医療相談員等と連絡を密にし早期退院できるように努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りの際は家族から意向確認書や同意書を取っており、年に1回は意向確認を取りなおしています。段階に応じて主治医や訪問看護師、家族、職員などの関係者と情報を共有しています。</p>	<p>入居時に「看取りの際の急変時対応について」を説明し同意を得ており、入居後も毎年家族会で説明をするなど、利用者や家族の変化する思いを汲み取るよう努めている。過去に看取りを行った事例があり、知識や技術の向上を図るため外部研修に参加したり、医師や看護師と情報を共有しながらチームで支援できる体制を整えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアル、連絡網を作成し定期的に職員会議等で講習を行い発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を実施している。また、水害時の避難もグループ全体で取り組んでいる。家族の協力はあるが、地域との体制はできていない。</p>	<p>年2回、防災訓練を実施するほか、法人全体で水害訓練も実施している。台風時には夜勤者を増やしたり、今年7月の大雨の際は、法人の施設に避難するなど、早めの対応に努めている。備蓄は隣接する有料ホームで一括管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に不適切な言葉使いや対応が無いかな確認をしています。今後も慣れから生じやすい言葉使い、対応など確認することでお互いに指摘できるよう接遇についても意識していきます。	年2回の内部研修のほか、外部研修にも参加しており、プライバシーを損ねない言葉遣いや声かけに気を配りながら接している。来訪者への守秘義務の説明や個人カルテの保管場所についても細心の注意を払うなど、プライバシー確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーション活動など、声かけすることで参加するかしないかを本人で決めてもらうなど、場面ごとで自身が決める機会を意識しながら対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの一日の流れを尊重しながら興味のあることや個々の年齢や身体状態にも配慮しながら暮らしを支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪を希望される際には訪問美容師へ依頼しています。爪切りや髭剃りなどの支援も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合わせた食事やお菓子作りなど設けています。食事後の簡単な後片付けも出来る範囲でお手伝いしていただいています。	食事は併設する有料ホームからの提供になるが、行事食やおやつ作りなど、利用者也参加して楽しく取り組んでいる。職員も利用者と同じテーブルを囲み、同じメニューを会話を楽しみながら食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量などは記録に残し把握しています。食事や水分などが極端に落ちている方へは主治医へ相談をし好きな物を摂取していただきたい		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後全員の口腔ケアを実施している。 不定期にて歯科衛生士が訪問し口腔内や義歯の確認をして下さる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ほとんどの利用者がオムツを使用している中で、日中だけ布パンツで過ごせる方もいます。定期的な排泄の声かけを実施しています	日中はトイレでの排泄を基本とし、夜間ポータブルトイレを利用したり、リハビリパンツを使用するなど、極力、排泄補助用品に頼らないよう支援している。また、排泄状況を生活日誌に記録することで、個々の排泄パターンの把握につなげ、ケアプランに組み込み対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を行い、便秘が続かないようにしています。食物で便通が良くなるように工夫をしています。また、整腸剤や、下剤も排便の状況に合わせて調整しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には水・日以外の午前中にお声をかけますが、本人様に合わせて入浴日以外や午後からも実施しています。入浴剤や音楽を流したりと楽しんでもらえるようにしています。	週3回程度、主に午前中に入浴しているが、希望があれば午後からの入浴も可能である。また、ゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を用いるなど、楽しく入浴できる工夫もしている。皮膚状態の観察や入浴後の水分補給にも気を配り対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々がいつでも自由に休息できる、入眠できるよう習慣を把握しながら支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに薬情を保管してあります。常に確認、共有できるようにしています。内服変更時はご家族や訪問看護師へ報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり、おぼんをふいてもらったりとその方に合わせて手伝いをしてもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の協力もいただきながら、外出や病院受診などもあります。気候を見ながら周辺の散歩やドライブを実施しています。	お正月に初詣に出かけたり、ルーピンやチューリップ、あじさいやコスモス等、季節の花見に出かけている。また、日頃から天候を見ながら散歩や買い物に出かけるなど、毎月外出する機会を設け、気分転換を図っている。歩行が難しい方もホームの公用車や隣接するデイサービスのリフト車を借り、全員で楽しく出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持には制限はありませんが、利用者様の状態によっては職員がご家族の了承のもと預かり管理を行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族や知人との電話や手紙のやり取りに関しては特に制限はなく、可能な限り自由にやり取りを行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様の居室や共同スペースは常に清潔を心がけています。共有するスペースは特に排泄集や、感染予防に配慮し消毒や空調管理を徹底しています。</p>	<p>玄関は広く、ホーム便りである「ひまわり新聞」と職員写真が掲示されている。リビングには明かりとり用の窓があるため、採光は十分であり、また、ソファも多数配置されるなど、くつろげる空間になっている。リビングの一角に畳スペースが設けられており、行事の際には舞台としても利用している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビ前のソファにてテレビ観賞したり、自室で過ごされたりと個々にあった自由な時間を過ごしていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込みの家具や馴染みのある物を持って来て頂いています。各居室にコルクボードを設置しご家族との写真や手紙などを飾りいつでも見れるようにしています。</p>	<p>エアコンやベッド、洗面台が備え付けられており、椅子やテーブル等馴染みの品を持ち込み、自由に過ごしている。居室は畳部屋とフローリングの2種類あり、利用者の状態や好みに合わせて利用してもらっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングやトイレ、浴室に手すりを設置し、段差や障害物での移動の障害とならないように配慮しています。自分の居室が分かるように名前を掲示しています。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない